

社会福祉法人 どんぐりの家
令和3年度 事業報告

(1) 通所介護事業所

年間延べ利用者数、10,951 名。

予算 91,140,000 円 決算 91,259,361 円（達成率 100.1%）

「在宅生活を支援する」この事の意味を考えながら、体操等の機能訓練、栄養のある食事、レクリエーション等の余暇活動を行いました。又、職員が手を出し過ぎる事なく、ご利用者が出来る事はして頂ける様に支援しました。

新型コロナウイルス等の感染症対策を徹底しながら、その中で、運動会や納涼祭り等のイベントを行い、ご利用者に喜んで頂ける様にスタッフで協力して行いました。

介護の基本である「心」を大切に出来るスタッフを育成する為に、ミーティングで言葉遣いや、ご利用者の話に耳を傾ける大切さを話し合いました。

(2) 認知症対応型通所介護事業所 どんぐりの家 絆

年間延べ利用者数、3,132 名。

予算 38,150,000 円 決算 38,126,967 円（達成率 99.9%）

心穏やかに一日を過ごして頂ける様に、家庭的な雰囲気作りを大切にしました。その中で、食事の準備、後片付け等を手伝って頂いたり、洗濯物を干したり畳んで頂いたり、ご利用者が「出来る事」を「やりがい」を感じて頂きながら行える様に努めました。

対応が難しいご利用者の支援方法や対応を、何度もミーティングで話し合い、共通理解の下で取り組み、「気持ち」のある対応が出来たと思います。

狭い空間であるが故、新型コロナウイルス等の感染症対策には、細心の注意を払いました。

(3) 居宅介護支援事業所

年間延べ給付管理件数、1,182 件

予算 18,580,000 円 決算 18,548,100 円（達成率 99.8%）

1 年を通じて、ご利用者やご家族から苦情を頂くことなく業務が出来ました。こちらの自己満足ではなく、相手に「しっかり話を聞いて貰えた」と感

じて頂けることを目指した成果だと思います。

ご利用者の身体機能が低下した際、ご家族から施設への長期入所を希望される場面が以前と比べ増えました。そのような時、施設探しのみを優先させず、例えば老人保健施設や病院への期間限定入所や入院により、ご利用者も住み慣れた家で暮らす事が出来、ご家族の介護負担も軽減出来る方法を提案し、在宅生活が続く支援を意識しました。

綾部市生活サポート会議や、地域包括支援センター主催の事例検討会については出席者が偏ることなく、各ケアマネジャーが出席し、外部での学びの機会を得る事が出来ました。

(4) おこしやす

年間延べ利用者数、すこやかシニア教室・・・3,880 名。一般・・・32 名。

予算 14,230,000 円 決算 14,587,925 円（達成率 102.5%）

年間を通じ、午前中は「綾部市すこやかシニア教室」として、運動・口腔・栄養をテーマに取り組み、午後は、体や頭を使ったレクリエーションや、コロナ禍でも行える季節感を大切にした取り組みを行いました。

又、自宅でも行える感染症対策をお伝えし、週に 1 回休まず来て頂けるよう、正しい知識をお伝えする事が出来ました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一般のお客様は「おこしやす体験利用の方」のみとさせて頂きました。

(5) 配食サービス事業所

昼食・・・6,487 食、夕食・・・7,920 食、計 14,407 食。

予算 7,920,000 円 決算 7,910,650 円（達成率 99.8%）

昨年度比、プラス 3,537 食となり、改めて高齢者の食に対するニーズの高さを感じた 1 年でした。高齢者福祉の地域資源として、その一役を担えたのではと感じています。

新メニューも多数取り入れ、バラエティ豊かな食事の提供に努めました。

配達時に安否確認も行い、いつもと様子が違う事から病院受診へと繋げたケースもありました。配食事業のもう一つの目的である「地域の見守り隊」としての役目も果たす事が出来ました。

